



# 文化財発掘VI

— 幕末・近代の出土文字資料 —



## 関連講演会

第1回 2020年3月14日(土) 14時~15時  
笹川高紀(京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター)  
「田中関田町遺跡からみつかった近代の遺物について  
—出土文字資料と文献史料にもとづく考察を中心に—」

第2回 2020年3月28日(土) 14時~15時  
伊藤淳史(京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター)  
「近・現代の考古学と京都大学構内遺跡」

※場所はいずれも総合博物館本館3階の講演室  
参加無料(ただし、博物館への入館料は必要)

※両日の13時~16時に、尊攘堂(京都大学本部構内/総合博物館南側)を公開  
します。京都大学構内から出土した遺物の展示をリニューアルしております  
ので、ぜひご覧ください(無料)。

## 2020年 2月19日(水)~4月19日(日)

9時30分~16時30分(入館は16時まで)

休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)  
観覧料 一般400円 高校生・大学生300円 小学生・中学生200円  
\*20名以上の場合は団体観覧料が適用されます。  
\*障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名、70歳以上の方、  
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料  
(要証明証)

主催 京都大学総合博物館  
京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター

## 文化財発掘VI

## —幕末・近代の出土文字資料—

京都大学構内の地下には、たくさんの遺跡が残されています。それらから出土した遺構・遺物等を紹介する、シリーズ「文化財発掘」の6回目は、幕末・近代における出土文字資料を主題としています。

発掘調査の結果、同時期の文字を墨書・釉書き・印刻した土器や陶磁器・瓦などが、数多くみつかっています。この度は、幕末・近代の京都大学構内を特徴づける、土佐藩白川邸・第三高等学校・京都帝国大学・清風荘等に係わる資料を中心に、展示をおこないました。そしてまた、文献史料などを参考にすることで、それらの文字が意味するもの等について、検討を加えています。

以上のような出土文字資料などを通じて、それぞれの歴史を深く知っていただければ幸いです。あわせて、今回の展示を一つのきっかけにして、新しい時代の出土文字資料にも広く関心が向けられ、ひいては、その研究が進展することを大いに期待しております。

なお、この度の展示から、文化財総合研究センターの職務を昨年4月に継承した、大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センターが企画しています。



「中佐」の刻印銘瓦（北部構内）



「瀬 716（統制番号）」（吉田南構内）



「医院」の円形意匠（病院構内）



「賄」「医院」の円形意匠（病院構内）



「府立医大」（田中関田町遺跡）



## 交通案内

## ●市バス

JR／近鉄京都駅から17・206系統  
 阪急京都河原町駅から3・17・31・201系統  
 地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統  
 地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統  
 「百万遍（ひやくまんべん）」下車徒歩約3分

## ●京阪電車

「出町柳（でまちやなぎ）」駅下車徒歩約15分  
 ※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
 TEL (075)753-3272  
 FAX (075)753-3277  
 info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
 http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

## 表面写真

「大学」の円形意匠（本部構内）  
 「京都帝国大学寄宿舎」「美濃窯業」（吉田南構内）  
 「<sup>(印)</sup>風荘」（田中関田町遺跡）